

1. 件 名「リサイクル燃料備蓄センターの使用済燃料貯蔵事業変更許可申請に係る新規制基準適合性審査（標準応答スペクトルの規制への取り入れに係る変更）に関する事業者ヒアリング（4）」

2. 日 時：令和4年10月4日（火）10時30分～10時50分

3. 場 所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁 原子力規制部 地震・津波審査部門：

三井上席安全審査官、佐藤主任安全審査官[※]、永井主任安全審査官、藤川安全審査官、馬場係員、松末技術参与

リサイクル燃料貯蔵株式会社 むつ本社：

赤坂常務取締役 リサイクル燃料備蓄センター長 他3名[※]

同 東京事務所： 品質保証部長 他2名[※]

5. 要旨

(1) 本年9月20日に原子力規制委員会がリサイクル燃料貯蔵株式会社から受理した使用済燃料貯蔵事業変更許可申請（令和4年1月20日付け）の一部補正の記載内容について、原子力規制庁から、同社に対して、規則解釈等の改正内容及びこれまでの審議内容を踏まえ、以下の点について適正化する必要性について検討するよう伝えた。

- ① 「全国共通に考慮すべき地震動」のうち、「2004年北海道留萌支庁南部地震」の評価に関する記載については、規則解釈等の改正を踏まえた記載となっていないこと。
- ② 標準応答スペクトルに基づく評価のうち、模擬地震波の作成にあたっては、ガイドに則して複数の手法で行った旨が明確になっていないこと。
- ③ 新知見として追加した文献について、本文中での引用箇所が明確になっていないこと。

(2) リサイクル燃料貯蔵株式会社から、上記の指摘を踏まえ改めて検討するが、記載の適正化については補正を提出することで調整する旨の回答が

あった。

6. 事業者提出資料

(1) 本年9月20日受領資料

- ・ リサイクル燃料備蓄センター 使用済燃料貯蔵事業変更許可申請書 変更前後比較表

(2) 本年9月15日受領資料

- ・ 資料1-1 リサイクル燃料備蓄センター 使用済燃料貯蔵事業変更許可申請既許可（令和2年11月）の申請での評価からの主な変更点について
- ・ 資料1-2 リサイクル燃料備蓄センター 使用済燃料貯蔵事業変更許可申請敷地周辺の地質・地質構造について
- ・ 資料1-3 リサイクル燃料備蓄センター 使用済燃料貯蔵事業変更許可申請敷地の地質・地質構造について
- ・ 資料1-4-1 リサイクル燃料備蓄センター 使用済燃料貯蔵事業変更許可申請 基準地震動の策定
- ・ 資料1-4-2 リサイクル燃料備蓄センター 使用済燃料貯蔵事業変更許可申請 基準地震動の策定 [資料集]
- ・ 資料1-5 リサイクル燃料備蓄センター 使用済燃料貯蔵事業変更許可申請 使用済燃料貯蔵施設の基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価について
- ・ 資料1-6 リサイクル燃料備蓄センターにおける津波評価方針の変更のうち、仮想的な大規模津波の策定について
- ・ 資料1-7 リサイクル燃料備蓄センター 使用済燃料貯蔵事業変更許可申請 火山影響評価